

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）

絵本の魅力や読み聞かせの素晴らしさを再確認！

昨年の11月6日（月曜日）お話しボンの会の甲斐先生を講師に招いて「語り合いませんか？～読み聞かせを通した子どもの世界を～」という座談会を開きました。急な募集で参加者は8名でしたが、少人数ならではのぎっくばらんな会となり、絵本や読み聞かせに関する様々な話題が取り上げられて、とても有意義な時間となりました。

この度、その時の話の内容を甲斐先生が記録に起こして下さいました。興味のある方は是非HPに掲載しましたので読んでみてください。

子どもたちが絵本から学ぶことはとても多いのですが、私たち自身が絵本を読み聞かせる事で学ぶことは、それに負けないくらい多いようです。どんな絵本を選ぶのか？どんな風に読んで聴かせるのか？子どもとどんなやり取りをするのか？しかし、甲斐先生はこうおっしゃっています。「ご家庭で親が子どもに本を読むんですから、読み方など気にしないで読んでください。絵本を読んでもらえるのは子どもにとって愛情体験です。読んでもらうことがうれしいんです。読み方を気にすることはありません・・・」本当に肩から力がスッと抜けて、これからは楽な気持ちで読んであげられるような気がしてきます。

絵本や読み聞かせにまつわるお話は、わずかな時間では語り尽くせなかったとのことで、今回は是非、それぞれが気になる絵本を持ち寄ってみようということ



になったそうです。これは素敵な提案です。是非、来年度早々に企画したいと思います。その際は、初めての方も是非ご参加下さいね！

入学式や卒業式など「儀式」には付きものの壇上の旗。小中学校ではお馴染みですが、この度大学に、附属幼稚園にも立派な園旗を作って頂きました。四校園には一目で区別できるような校園毎の「カラー」があります。幼稚園はオレンジなので、それを基調とした園旗にしました。早速、今年の修了証書授与式から使用します。この園旗と共に、附属幼稚園が、これからも輝かしい歴史を刻んで行くことを、心から願っています。



立派な「園旗」ができました！

ペットボトルキャップで救える命



の主催者に届けて下さいました。結果は、二〇、〇九キログラム。ポリオワクチンにして5人の子どもたちが救えます。さて、キャップを持たせる時、子どもたちには何と説明しているのでしょうか。年長さんくらいになれば、そろそろ人の命を救えることをわかるようにかみ砕いて伝えてもいいのでは？と思います。一年間、ご協力有り難うございました。

子どもたちが、入れたくなるように工夫されたキャップ入れ。あれは本当に良くできていますと感心していました。キャップ集めは環境安全部さんの取組ですが、先日、一年間かけて集められたキャップを、キャンペーン